

トラック 簡易に浸水防止

イノベックス、下部カバー

イノベックス（東京都中央区、浅見昌之社長）は、商用車向け車両浸水防止カバーを開発した。耐久性・防水性に優れたカバーで覆い、浸水被害から商用車を守る車両浸水防止カバー「ウォーターセーフ」を9月に発売する。車両寸法などで価格は変わるが、消費税抜きの価格は1車当たり20万円から。発売5年後に5億円の売上高を目指す。

5分で展開、安全に固定



カバーには耐久性・防水性のある素材を使用した。丸まった状態のカバーを広げてトラックをカバー上に移動。前後左右のカバーを立ち上げて、ロープやゴムバンドなどで四方を固定する。2トトラックの場合、作業時間は2、3人で約5分。雨が入らないよう

↑トラックをカバーで覆い水没実験を実施（イノベックス提供）

車体とカバーを養生テープなどで固定することもできる。

浸水時、車は浮力で浮き上がるため、カバーの高さは1・5メートル程度を予定している。浮力を移動しないようカバーにオアションとして金具などを取り付けて固定もできる。

イノベックスではカバーを2トトラックに取り付けた状態で水深1・5メートルの場所で48時間耐久試験を実施。その後、トラックは無事に動いたという。今回

の製品は防災関連商材を製造販売する、ちふりや工業（山口市）と共同開発した。運送業や倉庫業、流通業、製造業を中心に製品展開する。救急車や消防車といった公的機関の車両向けにも販路を広げていきたい考え。

気象庁のデータによると1時間当たりの降水量が80ミリ以上の猛烈な雨の発生頻度は、1980年ごろから現在は倍増し、年々水害リスクが高まっている。豪雨被害に対応して復旧物資を届ける輸送業者にとって商用車の被災は復旧活動を遅らせるなどの影響がある。イノベックスはウェーブロックホールディングス（HLD）の子会社で、生活・産業資材のシートなどを製造する。

この記事は日刊工業新聞社の転載許諾を受けています。